

会長の挨拶 27 例会出席－その 2－

ロータリーの厳格な例会出席の理論的根拠如何という問題がある。この点はロータリーの例会欠席に対して、疾病・公的義務の履行等が一切免責事由とならないという点を考えると如何に厳格であるかがわかる。そこでその理論を納得のゆく形で提示しないとロータリー運動は不当な拘束に見えてくる。現に、ロータリーはそういうものだと鵜呑みにして、手術後の患者を担架で例会場に運び込んだという事件があったり、病気で二・三ヶ月休養を要する者を一時退会させたり、また、出席に関する報告で嘘をつくクラブがあるという話を聞いたが、これなどは例会出席の理論的根拠探求を疎かにした為に起こる悲劇なのであって、笑止千万なことと言わなければならない。またガバナーもガバナーで、いたずらに出席競争ばかりを強制する態度に出る。どうしてその原理をやさしく解説してやらないのか。国際ロータリーの役員としては重大な怠慢と言わなければならない。

(小堀憲助著『ロータリー思想の理論構造』より引用)